



36



# 独特の優美な姿 斜張橋

天竜川右岸の阿南町北条と左岸の泰阜村温田を結ぶ。全長三百八十二斤。主塔から張ったケーブルを橋桁に直接つないで支える「斜張橋」で、独特の優美な姿が目を引く。橋の歩道を歩いてみた。H型の主塔は小さな中ノ島(中

(阿南—泰阜)

## 南宮大橋



主塔とケーブルの造形が美しい南宮大橋

州)に建てられ、計四十八本のケーブルが翼を広げたようにのびる。主塔の高さは七十五斤。橋から見渡す川と山の眺めが素晴らしい。  
この地はかつて「南宮峽」と呼ばれる景勝地で、観光船が発着するほどにぎわった。  
一八九七(明治三十)年、中ノ島を境に木橋とつり橋が完成。一九五一(昭和二十六)年には二本の鋼製アーチ橋となったが、下流に平岡ダムが完成したことから河床の堆砂が進み、増水時に冠水する危険が高まった。このため、九五(平成七)年に、南宮大橋が建設された。  
伊那谷を貫く天竜川は、兩岸の人々の暮らしを長く隔ててきた。近代的な橋を渡りながら、川を越えることができなかつた昔の暮らしの厳しさを思った。(中山道雄)